

会 議 記 録			
会議の名称	総務文教常任委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 数井
日 時	令和6年5月29日（水曜日）		開 議 午後 1時30分 閉 議 午後 4時35分
出席委員	○竹内 浅田 原野 松山 三上 山本 福井 （欠席：小林）		
執行機関 出席者	三宅生涯学習部長、樋口市民力推進課長、小塩文化芸術課長、 香川市民力推進課副課長兼市民活動推進係長事務取扱 岡田文化芸術課副課長兼文化振興係長事務取扱 大倉総務部長、牧野総務課長、藤本自治防災課長、 加藤自治防災課副課長兼自治振興係長事務取扱 齊藤自治防災課副課長防災・危機管理係長事務取扱 森岡教育部長、川口教育部次長、松野教育総務課長、吉村契約検査課長、 倉橋契約検査課主幹、香川契約検査課主幹、工藤契約検査課主幹 数井建築住宅課長、窪内建築住宅課副課長兼建築・営繕係長事務取扱		
事務局	吉田事務局長、数井事務局次長		
傍聴	可	市民 1名	報道関係者 0名 議員 1名（山木）

## 会 議 の 概 要

13:30～

### 1 開議

#### 【事務局日程説明】

### 2 案件

#### （1）行政報告

13:31～

#### 【教育部】

#### ○育親学園の建設について

（教育部 入室）

教育部長 あいさつ

#### 『育親学園の建設について』

教育総務課長 説明

13:38

#### ＜質疑＞

<松山委員>

建築工事中のグラウンドが使えない期間の対応は。

<教育総務課長>

今年度の体育祭終了後に、現校舎と新校舎建設地の間に約2,000平方メートルの

サブグラウンドを確保する予定である。サブグラウンドが完成するまでは、交流会館のグラウンドを使用するなどの対応を考えている。新校舎竣工後は、旧校舎を解体し、新グラウンドの整備を行う予定である。

<松山委員>

京都府産木材調達に係る業務委託の内容について、詳細は。

<教育総務課長>

木材調達業務委託については、育親学園周辺の木々の間伐や本梅町と宮前町の学校林で伐採した木材の運搬や保管、加工に係る製材所とのコーディネートを委託する。

<福井委員>

亀岡川東学園で教室の増築を考えたとき、重機が校舎まで入れないといった問題があったが、育親学園では、将来的に教室などを増築しなくてはならなくなった場合のことは考えていないのか。

<教育総務課長>

今後、大幅な人口増加は想定していないため、現行の設計上では増築の想定もしていない。

<福井委員>

万が一そのような事態もあるかもしれないため、そういったことも考えていただきたいと思っている。それから、体育館の屋根の木組みが特殊であり、施工できる事業所がないと聞いているがどうか

<建築住宅課長>

設計段階では可能であることを確認している。

<三上委員>

低学年にとって遊具は必要と考えるが設置する予定はどうか。

<建築住宅課長>

雲梯、上り棒、滑り台などの設置は検討しており、場所は現在調整中である。

<三上委員>

鉄棒など体育で使用する器具については現場の教師と協力して検討を進めていただきたい。それから、体育館について、いろいろなスポーツがされると思うが、天井の高さに留意いただきたいと思っているが、どのように考えているのか。

<建築住宅課長>

高さは屋根までで12メートル、天井高は約9.5メートルで一般的な体育館の大きさと考えている。

<福井委員>

屋根の木組みはどのような形か。

<建築住宅課長>

ドーム型である。

<松山委員>

木組みのメンテナンスは大変ではないのか。

<建築住宅課長>

メンテナンスについても考慮しており、はしごで屋根まで上がれるよう考えている。

<山本委員>

床材が木材の場合、老朽化すると一部が剥がれ危険であり、また、イベントのときに敷物を敷くことが大変であるため、木材でない素材の検討をしてほしいと要望していたが、どのように考えているのか。

<建築住宅課長>

検討した結果フローリング材とした。

<山本委員>

国も木造建築を推奨しており、補助制度があると聞いているがその点についてどうか。

<教育総務課長>

木造による補助制度はあるが、補助額を勘案した結果、文部科学省からいただける補助金を活用することとしている。

<浅田委員>

通学路の階段を改修する計画があったと思うが進捗は。

<教育総務課長>

現状改修できておらず、今年度実施の予定である。

<原野委員>

校舎のバリアフリー対応はどうか。

<教育総務課長>

対応している。

<原野委員>

展望デッキがあるが、スロープを造る考えは。

<建築住宅課長>

検討中である。

<松山委員>

育親学園は自校給食となるが、調理室の面積について、将来的に親子方式ができるようにする考えはないのか。

<教育総務課長>

自校給食を想定して設計している。

<松山委員>

調理能力はどれくらいか。

<建築住宅課長>

児童生徒及び教職員数で見込んでいる。

<三上委員>

親子方式など、あらゆる可能性を鑑みていただきたいがどうか。

<建築住宅課長>

児童生徒数から調理室の面積規模が決まってくるため、将来の親子方式を想定しての建設は難しい。

(質疑終了)

14:02

(教育部 退室)

## ●令和6年度他都市先進地行政視察まとめ

【戸田市】

<福井委員>

教育長自ら視察の対応をしていただき、教育にかける思いをしっかりと持った上で、計画的に、かつ情熱的に施策を遂行されていたと思うが、それだけやっても不登校児童生徒が減ることはないと感じた。

<松山委員>

教育長の話は目から鱗であり、自分の中でもやもやしていた感情が具現化されたと感じ

じている。ただし、環境や事情も違うため亀岡市で同じように実践できるのかどうか、亀岡市の教育として、議会と教育委員会が協力して進めていかななくてはならない。話の中で、フリースクールも増えており、教育の一つの選択肢ではあると思うが、それを推奨してしまうことに疑問を持たれており、現場の声を聞いておられると感じた。

<浅田委員>

ぱれっとルームという通常教室に通えない子どものための部屋を設置しており、部屋ではあちこちで寝ているなどしているが、心の充電をする場所として重要な役割を果たしている。また、通常教室の児童生徒が気軽に出入りするなどの交流があり、子ども同士の心のつながりができていると感じた。不登校が増えている亀岡市の教育にどのように活用していけるのか、まずは支援の熱量が子どもたちに伝わる環境づくりが必要であると思う。

<山本委員>

戸田市のように学校の代わりとなる選択肢がたくさんあり、また、相談するところが多いのがよい。また、教育長の思いが現場の先生にしっかりと伝わっていることがすばらしい。

<原野委員>

学校に戻れるのであればそれが一番望ましい、という言葉に感銘を受け、やはり教育の柱はそれであると感じた。亀岡市にもフリースクールが増え、なごみルームが設置されているが、それらが子どもたちの充電場所となり、その柱につながるように教育環境が整えられればよいと思う。

<三上委員>

熱い思いを聞かせていただいた。いろいろな家庭環境にある子にとって、学校に来ることが楽しいという点が昔はあったと思っており、そういった環境づくりが大切であると思っている。また、すべての学校が先進校であり、かつて亀岡にあった先進校では、教職員が遅くまで残業していたが、戸田市では超過勤務がほとんどないとのことであり、教職員にとってよい勤務環境はよい情操教育をしていくためにも必要であると感じた。

<福井委員>

学校以外の教育の場づくりも必要であるが、最終的には学校に戻ることが望ましいという言葉が心に残っており、亀岡市はフリースクールに通う生徒に一人1万円の補助をしているが、学校に行かなくてもよいと認めているような気がしており、またこの制度について気にかけていきたい。

<竹内副委員長>

子どもたちがいかにわくわくする環境がつかれるのか、誰も取り残されない教育が目に見える形で現れることが必要である。

14:23

【川崎市】

<松山委員>

インターネットにおける誹謗中傷について、民間委託により投稿をチェックし、第三者機関を通じて適正な対応をされていた点が評価できる。

<福井委員>

川崎市人権パンフレットを作成され、人権のテーマごとに現状と相談窓口を明記されている点がすばらしい。人口が多く、全戸配布はできないとのことであったが、亀岡市では全戸配布できるのではないかと思った。

<原野委員>

福井委員と同じ意見である。

<浅田委員>

人口は多いが、相談件数は以外と少ないと感じた。

<山本委員>

執行部も同席したので、今後の基本計画策定がどのようにされるのか期待している。

<三上委員>

川崎市では、外国籍の方へのヘイトスピーチが問題となっていた経過があり、条例が制定された経緯が亀岡市とは違うが、インターネットへの書き込みが減らない中で、投稿を管理する事業者に削除要請を行っているなどしており、亀岡市も今後人権行政をどのように進めていくのか検討を進めていただかなくてはならないと感じている。

14:34

【豊田市】

<松山委員>

展示について、地域と連携してつくっている点など、もう一度来たいという仕掛けがよかった。これまでの亀岡の歴史を次世代へ大切に紡いでいくことのイメージができた。

<福井委員>

博物館として、人が集い、歴史や文化も集う所、そういう場所であるべきであり、学芸員だけが資料の保存をするのではなく、亀岡市の博物館もこの点を考えて計画を策定いただきたい。

<浅田委員>

すばらしい博物館で圧倒され、何回来てもよいと感じた。やはり、駐車場は必要であると思う。

<山本委員>

「とよはくパートナー」の連携により、みんなで作っている点がよかった。建てる前に子育て中の人などからいろいろな意見を聞かれていたので、亀岡市もそのようにしていただきたい。

<原野委員>

市民の感想を展示し、世代が違う方でも楽しめる仕掛けづくりや子どもたちにとってゆっくりできる場所などいろいろ考えられていた。市民とのつながりを感じられる博物館となるように勉強したい。

<三上委員>

説明されている博物館の職員はいろいろな博物館を手掛けてきたとのことで、博物館愛がある人を呼んで意見を聞くことも必要と思う。まちを代表するものとして、市民参加ができ、郷土愛があふれるようなものになればと思っている。

14:48

(休憩)

14:48~15:00

15:00~

【生涯学習部】

○梅岩の里生誕地整備事業について

1) 建設工事について

2) 石田梅岩記念館設置条例(案)について

○(仮称)亀岡市新文化施設建設に係る調査業務の結果について

(生涯学習部 入室)

生涯学習部長 あいさつ

『梅岩の里生誕地整備事業・1) 建設工事について』

市民力推進課長 説明

15:05

《質疑》

<福井委員>

電気工事と管工事の契約はまだであるが、どのような状況か。

<建築住宅課長>

6月議会開会までに入札予定であるので、議案審査のときにはお示しできる。

<福井委員>

建築後の運営についてはどうするのか。

<市民力推進課長>

後ほど、石田梅岩記念館設置条例(案)の議題で説明する。

(質疑終了)

15:09

『梅岩の里生誕地整備事業・2) 石田梅岩記念館設置条例(案)について』

市民力推進課長 説明

15:14

《質疑》

<松山委員>

指定管理者の募集方法は。

<市民力推進課長>

条件付き一般公募である。

<松山委員>

文化資料館との連携はあるのか。

<市民力推進課長>

資料の収集を文化資料館の学芸員に協力してもらっており、今後も連携していく。

<松山委員>

実りある施設となるように、記念館に来れば資料館へ、また、資料館に来れば記念館へというように仕掛けを考えてほしい。

<生涯学習部長>

文化財の普及活用計画を策定し、文化財を観光として活用していくことも考えており、いろいろなことが線につながるようにしていきたい。

<福井委員>

指定管理者にはどこまで管理を任せるのか。

<市民力推進課長>

利用料金で運営ができることが一番ではあるが、入館料は無料で講堂の使用料のみを徴収することから、運営には基金を取り崩していくことになる。

<福井委員>

基金を取り崩して何年間運営できる見込みか。

<市民力推進課長>

20年程度は可能と思っている。

<福井委員>

その間に新しい運営方法についても考えていかななくてはならない。運営に係る寄附を募るなども検討いただきたい。

<山本委員>

設置目的に地域のにぎわい創出と記載されているが、梅岩先生の教えを普及するだけではにぎわいの創出とならないと考える。指定管理者にはどのような内容を委託するのか。

<市民力推進課長>

地域の交流が生まれるような取組を指定管理者には求めていく。里山工房では調理ができるようになっており、そういったことも活用しながら地域で交流を図れるようにしていただければと考えている。

<山本委員>

指定管理者が決まれば、地域の活性化となるような取組を行うよう協議する認識でよいか。

<市民力推進課長>

そのようなことも含め、実行委員会には東別院町の自治会長にも参画いただいております、地域とも連携して進めていく。

(質疑終了)

15:26

## 『(仮称) 亀岡市新文化施設建設に係る調査業務の結果について』

文化芸術課長 説明

15:38

### 《質疑》

<原野委員>

文化ホールの座席数はなぜ600席としたのか。

<文化芸術課長>

亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会で、亀岡市に新規に設置するには適当であると協議された座席数で600席となっている。

<原野委員>

よりよい演者が呼ぶことができ、黒字になるように座席数についてはさらに検討をしていただきたい。出演者の控室などはギャラリーかめおかの部屋を使用することで、建設経費がホールだけとなり、経費が軽減できると説明があったが、演者が客と会うことも考えられるため、控室は必要ではないのか。

<文化芸術課長>

実際に造るときには検討委員会を立ち上げ、詳しく考える予定である。

<福井委員>

亀岡市ではいろいろな建設事業が検討されているが、以前市長の答弁で文化ホールは4番目か5番目の優先順位であったと記憶している。そのことから、建設に至る時間はあると思っており、スケジュール的にはどのように考えているのか。

<文化芸術課長>

今回ギャラリーかめおかのコンベンションホールや響ホールの調査も行ったことから、至急に検討委員会を立ち上げるのではなく、既存のものの活用も検討しながら事業を進めていきたい。

<松山委員>

ガレリアかめおかがまちづくりの基軸であり、今回の調査結果を踏まえ、将来のガレリアかめおかの在り方を考える中で、市民の考えも取り込み、よりよい文化施設が出来るように進めていただきたい。

(質疑終了)

15:51

(生涯学習部 退室)

(休憩)

15:51~16:05

16:05~

【総務部】

○かめおか「セーフティドライブ」チャレンジ事業について

○亀岡市防災拠点施設(〔仮称〕Car Shelter 野水)整備事業の進捗状況について

(総務部 入室)

総務部長 あいさつ

『かめおか「セーフティドライブ」チャレンジ事業について』

自治防災課長 説明

16:11

《質疑》

<山本委員>

終了後に交通安全マップをつくるとのことであるが、希望者は応募により選定されることから、地域による偏りが生じることはないのか。

<自治防災課長>

多くの地域から応募があるように呼びかけていくこととしており、また、マップを作成するときはあいおいニッセイ同和損害保険株式会社が保有するデータも使用する。

<松山委員>

広報はどのようにするのか。

<自治防災課長>

市の広報紙に掲載するとともに、セーフティドライブ登録者の約400人と企業22社に個別通知を行う。

<福井委員>

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社がドライブレコーダーを貸し出しており、急発進して少しでもブロックに乗り上げた際は同会社へ通報される仕組みになっているが、そのような人とデータが重複することはないのか。

<自治防災課長>

電子タグから携帯アプリを通じてデータが蓄積され、点数化されるようになっており、今回の事業用のものであるため、ほかのデータとの重複はない。

<浅田委員>

年齢に制限はあるのか。

<自治防災課長>

年齢は問わないが、できるだけ幅広い層のデータを取りたい。

(質疑終了)

『亀岡市防災拠点施設(〔仮称〕Car Shelter 野水)整備事業の進捗状況について』  
自治防災課長 説明

〈質疑〉

〈松山委員〉

災害により電気が遮断したときの対応は。

〈自治防災課長〉

防災倉庫に太陽光パネルを設置し電源が確保できるように考えている。

〈松山委員〉

トイレ棟はどうか。

〈自治防災課長〉

屋根が小さいため太陽光パネルはつけられない。

〈福井委員〉

駐車場は芝生を敷くと聞いたが。

〈自治防災課長〉

東西に走る中央道路はアスファルトで、南北に交わる小道は砂利を敷き、駐車場部分は芝生を敷く予定である。

〈原野委員〉

入り口は施錠するのか。

〈自治防災課長〉

基本的に使わないときは施錠する。

〈浅田委員〉

図面の貯水槽はマンホールトイレ用か。

〈自治防災課長〉

そうである。

(質疑終了)

(総務部 退室)

### 3 その他

#### (1) 京都府中・北部地域消防指令センターの視察について

〈事務局次長〉

亀岡消防署から、このたび完成した、福知山市の京都府中・北部地域消防指令センターに、本委員会として視察に来ていただいております。ついては、委員会として視察を実施するかどうかお諮り願う。

〈竹内副委員長〉

福知山市の京都府中・北部地域消防指令センターの視察を行うことでよいか。

—全員了—

〈竹内副委員長〉

それでは、視察を行うこととし、7月5日、17日、29日のいずれかを考えており、できればこの3日を候補として消防署に伝えたいが意見あるか。

—意見なし—

〈竹内副委員長〉

それでは、そのように消防署に伝える。続いて、亀岡市防災会議委員の選任につい

て、事務局から説明願う。

16:30

## (2) 亀岡市防災会議委員の選任について

<事務局>

亀岡市防災会議委員については、令和5年第2回亀岡市議会定例会2月特別議会において、委員長を委員として選出いただいたところであるが、亀岡市防災会議委員の任期が令和6年5月31日までとなっており、新たに令和6年6月1日から令和8年5月末までを任期とした推薦依頼が届いたため、改めて委員の選出についてお諮り願う。

<竹内副委員長>

ただ今あったように、亀岡市防災会議委員については、議長と3常任委員長のあて職となっていることを踏まえ、引き続き小林委員長に就任いただくことでよいか。

—全員了—

16:32

## (2) 次回以降の日程について

6月10日(月) 議案審査 本会議終了後 全員協議会室

6月24日(月) 議案審査 午前10時から 全員協議会室

7月17日(水) または29日(月) 月例開催(時間未定) 全員協議会室

散会 ~16:35